

生野中学校

- ◎ 1994 年：同年の ALT(カイク氏)の叔母がカナダ・バンクーバーの教育委員会に關与しており、彼女の口ぞえによりバンクーバー市内の P.W. ミニスクールとの交流が生野町交流協会の支援の下、始まった。
- ◎ 1995 年：調査員（生野町教育長、学校長、英語科教諭、ALT）が訪問し、姉妹提携及び生徒派遣について合意を得た。同年、P.W. ミニスクールから 2 名が来日し、姉妹校締結を行った。
- ◎ 1996 年：P.W. ミニスクールより 8 名の生徒と 2 名の教師が来日
生野中学校より 8 名の生徒と 3 名の引率者が訪問
- ◎ 1997 年：P.W. ミニスクールより 11 名の生徒と 2 名の教師が来日
生野中学校より 10 名の生徒と 4 名の引率者が訪問
- ◎ 1998 年：生野中学校より 3 名の生徒と 2 名の引率者が訪問
- ◎ 1999 年：P.W. ミニスクールより 11 名の生徒と 2 名の教師が来日
生野中学校より 11 名の生徒と 4 名の引率者が訪問
- ◎ 2000 年：P.W. ミニスクールより 11 名の生徒と 2 名の教師が来日
生野中学校より 11 名の生徒と 4 名の引率者が訪問
- ◎ 2002 年：P.W. ミニスクールより 14 名の生徒と 2 名の教師が来日
生野中学校より 14 名の生徒と 4 名の引率者が訪問
- ◎ 2003 年：生野中学校より 11 名の生徒と 2 名の引率者が AIIU を通して、オーストラリアを訪問
- ◎ 2004 年：P.W. ミニスクールより 15 名の生徒と 2 名の教師が来日
生野中学校より 15 名の生徒と 3 名の引率者が訪問
- ◎ 2006 年：P.W. ミニスクールより 10 名の生徒と 2 名の教師が来日
生野中学校より 8 名の生徒と 3 名の引率者が訪問
- ◎ 2008 年：P.W. ミニスクールより 15 名の生徒と 2 名の教師が来日
生野中学校より 15 名の生徒と 3 名の引率者が訪問
- ◎ 2010 年：生野国際交流協会の配慮で、隔年の交流を毎年交流できるように交流先をカナダ・バンクーバーから、山東国際交流協会が交流を進めているアメリカ・オレゴン州ポートランド市のマウントテーバー学校との交流に方向転換した。
マウントテーバー校 43 名の生徒と引率者を受入
生野中学校より 10 名の生徒と 2 名の引率者が訪問
- ◎ 2011 年：東日本大震災の影響でマウントテーバー校からの公式訪問は中止、代わって非公式訪問として、マウントテーバー校から 14 名の生徒と 6 名の引率者を受入
生野中学校より 11 名の生徒と 2 名の引率者が訪問予定

和田山中学校

<アメリカ>

◎ 1988 年：但馬で初となる ALT を配置し、LL 教室の整備を合わせて英語学習の充実に取り組んだ。

◎ 1989 年：同年の ALT(アリソン氏)の父がアメリカ・オレゴン州・ニューバーグ市の教育委員で、彼女の口ぞえによりニューバーグ市内のスプリングブルック・ミドルスクールとの交流がわだやま国際文化交流協会の支援の下、始まった。

◎ 1990 年：視察団(和田山町教育長、学校長、英語科教諭)が訪問し、姉妹提携を行うとともに同校からの英語教師の派遣と生徒同士の友好派遣について合意を得た。

同年 9 月より、初代現役教師(シモン)が和田山中学校に赴任した。

◎ 1991 年：現役教師(ポール)赴任

和田山中学校より 3 名の生徒と 3 名の引率者が訪問

◎ 1992 年：現役教師(キャシー)赴任

スプリングブルック校より 9 名の生徒と 2 名の教師が来日

◎ 1993 年：JET 派遣講師(ケビン)赴任

スプリングブルック校より 7 名の生徒と 1 名の教師が来日

和田山中学校より 7 名の生徒と 3 名の引率者が訪問

◎ 1994 年：現役教師(キャナディー)赴任

スプリングブルック校より 15 名の生徒と 2 名の教師が来日

和田山中学校より 16 名の生徒と 4 名の引率者が訪問

◎ 1995 年：姉妹校出身講師(トレーシー)赴任

スプリングブルック校より 16 名の生徒と 2 名の教師が来日

シャヘイラムバレー校と校名を変更

和田山中学校より 16 名の生徒と 4 名の引率者が訪問

◎ 1996 年：姉妹校出身講師(トレーシー)赴任

シャヘイラムバレー校より 15 名の生徒と 2 名の教師が来日

和田山中学校より 18 名の生徒と 4 名の引率者が訪問

◎ 1997 年：現役教師(ウェンディー)赴任

シャヘイラムバレー校より 20 名の生徒と 3 名の教師が来日

和田山中学校より 16 名の生徒と 4 名の引率者が訪問

◎ 1998 年：姉妹校出身講師(レイチェル)赴任

シャヘイラムバレー校より 15 名の生徒と 3 名の教師が来日

和田山中学校より 16 名の生徒と 4 名の引率者が訪問

◎ 1999 年：臨時講師(ヘンダーソン)赴任

シャヘイラムバレー校より 15 名の生徒と 3 名の教師が来日

和田山中学校より16名の生徒と4名の引率者が訪問

◎ 2000年：姉妹校出身講師（ハザー）赴任

シャヘイラムバレー校より15名の生徒と5名の教師が来日

和田山中学校より16名の生徒と4名の引率者が訪問

◎ 2001年：姉妹校出身講師（サラ）赴任

シャヘイラムバレー校より16名の生徒と4名の教師が来日

国際テロ警戒のため訪米を中止

◎ 2002年：現役教師（アン）赴任

シャヘイラムバレー校より16名の生徒と4名の教師が来日

和田山中学校より18名の生徒と3名の引率者が訪問

◎ 2003年：姉妹校退職教師（カレン）赴任

シャヘイラムバレー校より12名の生徒と2名の教師が来日

和田山中学校より14名の生徒と5名の引率者が訪問

◎ 2004年：姉妹校退職教師（カレン）赴任

シャヘイラムバレー校より13名の生徒と5名の教師が来日

和田山中学校より16名の生徒と5名の引率者が訪問

◎ 2005年：姉妹校退職教師（カレン&イワン）赴任

シャヘイラムバレー校より21名の生徒と5名の教師が来日

和田山中学校より15名の生徒と4名の引率者が訪問

◎ 2006年：臨時講師（エドウィン）赴任

シャヘイラムバレー校より17名の生徒と3名の教師が来日

和田山中学校より17名の生徒と4名の引率者が訪問

◎ 2007年：臨時講師（ペロニカ）赴任

シャヘイラムバレー校より17名の生徒と3名の教師が来日

和田山中学校より16名の生徒と4名の引率者が訪問

◎ 2008年：臨時講師（ペロニカ）赴任

シャヘイラムバレー校より18名の生徒と5名の教師が来日

和田山中学校より20名の生徒と4名の引率者が訪問

◎ 2009年：臨時講師（マシュー）赴任

シャヘイラムバレー校より18名の生徒と3名の教師が来日

和田山中学校より20名の生徒と4名の引率者が訪問

◎ 2010年：臨時講師（ドーラン）赴任

シャヘイラムバレー校より19名の生徒と3名の教師が来日

和田山中学校より15名の生徒と3名の引率者が訪問予定

◎ 2011年：東日本大震災の影響でシャヘイラムバレー校からの訪問は中止

和田山中学校より15名の生徒と4名の引率者が訪問（予定）

<中華人民共和国>

- ◎ 1997 年：教育長と知己であった中国文部省教育国際協会の会長の計らいにより、和田山中学校の創立 20 周年式典に在日中国大使館参事を招聘し、中国との交流が始まった。
- ◎ 1988 年：和田山町長をはじめとする訪中団が、内蒙古自治区フフホト市蒙古族学校を訪問し、友好締結書の書名式を行った。以後、「中国に正しい日本語を贈る運動」が始まった。
- ◎ 1989 年：内蒙古自治区から現地日本語教師 2 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 1990 年：内蒙古自治区から現地日本語教師 1 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 1991 年：内蒙古自治区から現地日本語教師 1 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 1992 年：内蒙古自治区から現地日本語教師 2 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 1993 年：内蒙古自治区から現地日本語教師 3 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 1994 年：内蒙古自治区から現地日本語教師 2 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 1995 年：内蒙古自治区から現地日本語教師 2 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 1996 年：内蒙古自治区から現地日本語教師 2 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 1997 年：内蒙古自治区から現地日本語教師 2 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 1998 年：内蒙古自治区から現地日本語教師 2 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 1999 年：内蒙古自治区から現地日本語教師 2 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 2001 年：内蒙古自治区から現地日本語教師 2 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 2002 年：内蒙古自治区から現地日本語教師 2 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 2004 年：内蒙古自治区から現地日本語教師 2 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 2005 年：内蒙古自治区から現地日本語教師 2 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 2006 年：内蒙古自治区から現地日本語教師 2 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 2007 年：内蒙古自治区から現地日本語教師 2 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 2008 年：内蒙古自治区から現地日本語学生 2 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 2009 年：内蒙古自治区から現地日本語学生 2 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 2010 年：内蒙古自治区から現地日本語学生 2 名を日本語研修留学生として招聘した。
- ◎ 2011 年：内蒙古自治区から現地日本語学生 2 名を日本語研修留学生として招聘予定。

梁瀬中学校

◎ 1991 年：山東町国際文化交流協会の支援の下、調査員（町職員、英語科教諭）がアメリカ・オレゴン州を訪問し、生徒派遣について合意を得てウイルソンビル市内のインザ・R・ウッド校との交流が始まった。

◎ 1992 年：梁瀬中学校より 6 名の生徒と 4 名の引率者が訪問

◎ 1993 年：ウッド校より 4 名の教師が来日

梁瀬中学校より 6 名の生徒と 3 名の引率者が訪問

◎ 1994 年：ウッド校より 12 名の生徒と 4 名の教師が来日

梁瀬中学校より 8 名の生徒と 4 名の引率者が訪問

◎ 1995 年：ウッド校より 8 名の生徒と 2 名の教師が来日

梁瀬中学校より 9 名の生徒と 4 名の引率者が訪問

◎ 1996 年：ウッド校より 8 名の生徒と 2 名の教師が来日

梁瀬中学校より 9 名の生徒と 4 名の引率者が訪問

◎ 1997 年：ウッド校より 9 名の生徒と 3 名の教師が来日

梁瀬中学校より 12 名の生徒と 4 名の引率者が訪問

ALT(ベイコン氏)の取り計らいで、勤務校のオレゴン州ポートランド市のマウントテーバー校からの修学旅行生を受け入れを開始した。総勢 36 名の旅行団が来日

◎ 1998 年：ウッド校より 12 名の生徒と 2 名の教師が来日

ウッド校より、毎年受け入れが困難との依頼があり、新たな交流校として同じオレゴン州のマウンテンビュー・ミドルスクールとの交流を加え、同年より交流を開始し、梁瀬中学校より生徒 16 名と 3 名の教師が訪問。

マウントテーバー校から総勢 47 名の旅行団が来日

◎ 1999 年：マウンテンビュー校より 15 名の生徒と 3 名の教師が来日

梁瀬中学校よりウッド校に 7 名の生徒と 3 名の引率者が訪問

マウントテーバー校から総勢 46 名の旅行団が来日

◎ 2000 年：ウッド校より 7 名の生徒と 3 名の教師が来日

マウントテーバー校から総勢 23 名の旅行団が来日

◎ 2001 年：マウンテンビュー校より 15 名の生徒と 2 名の教師が来日

マウントテーバー校から総勢 44 名の旅行団が来日

◎ 2002 年：マウンテンビュー校より 14 名の生徒と 2 名の教師が来日

梁瀬中学校よりマウンテンビュー校に 15 名の生徒と 4 名の引率者が訪問

マウントテーバー校から総勢 37 名の旅行団が来日

◎ 2004 年：梁瀬中学校よりマウンテンビュー校に 7 名の生徒と 4 名の引率者が訪問

マウントテーバー校から総勢 46 名の旅行団が来日

- ◎ 2005 年：マウントテーバー校から総勢 48 名の旅行団が来日
- ◎ 2006 年：マウントテーバー校から総勢 47 名の旅行団が来日
- ◎ 2007 年：マウントテーバー校から総勢 38 名の旅行団が来日
- ◎ 2008 年：マウントテーバー校から総勢 45 名の旅行団が来日
- ◎ 2009 年：マウントテーバー校から総勢 30 名の旅行団が来日
- ◎ 2010 年：マウントテーバー校から総勢 43 名の旅行団が来日
梁瀬中学校よりマウントテーバー校に 9 名の生徒と 2 名の引率者が訪問
- ◎ 2011 年：東日本大震災の影響でマウントテーバー校からの公式訪問は中止、代わって
非公式訪問として、マウントテーバー校から 14 名の生徒と 6 名の引率者が来日
梁瀬中学校より 6 名の生徒と 2 名の引率者が訪問予定__

朝来中学校

- ◎ 1993 年：あさご町交流協会の発足に伴い、朝来中学校と姉妹都市であるカナダ・パース
町の間で国際交流を志向する方針が打ち立てられ、協会の多大な支援の下、オタワ市の
アシュベリー・カレッジとの交流が始まった。同年より、生徒間同士の訪問を始めた。
朝来中学校より 6 名の生徒と 3 名の教師が訪問
アシュベリー校より 14 名の生徒と 3 名の教師が来日
- ◎ 1994 年：朝来中学校より 8 名の生徒と 3 名の引率者が訪問
- ◎ 1995 年：朝来中学校より 8 名の生徒と 3 名の引率者が訪問
アシュベリー校より 10 名の生徒と 2 名の教師が来日
- ◎ 1996 年：朝来中学校より 10 名の生徒と 3 名の引率者が訪問
- ◎ 1997 年：朝来中学校より 12 名の生徒と 3 名の引率者が訪問
アシュベリー校より 12 名の生徒と 2 名の教師が来日
- ◎ 1998 年：朝来中学校より 14 名の生徒と 3 名の引率者が訪問
- ◎ 1999 年：朝来中学校より 14 名の生徒と 3 名の引率者が訪問
- ◎ 2000 年：朝来中学校より 10 名の生徒と 3 名の引率者が訪問
アシュベリー校より 8 名の生徒と 2 名の教師が来日
- ◎ 2002 年：朝来中学校より 14 名の生徒と 3 名の引率者が訪問
アシュベリー校より 8 名の生徒と 3 名の教師が来日
- ◎ 2004 年：朝来中学校より 13 名の生徒と 3 名の引率者が訪問
アシュベリー校より 16 名の生徒と 2 名の教師が来日
- ◎ 2006 年：朝来中学校より 12 名の生徒と 2 名の引率者が訪問
アシュベリー校より 14 名の生徒と 2 名の教師が来日
- ◎ 2008 年：朝来中学校より 12 名の生徒と 2 名の引率者が訪問

アシュベリー校より12名の生徒と2名の教師が来日

◎ 2010年：朝来中学校より12名の生徒と2名の引率者がカナダ・パース町を訪問
スチュワート校と交流

◎ 2011年：朝来中学校より12名の生徒と4名の引率者がカナダ・パース町を訪問
スチュワート校と交流予定

山東地区・小学校

◎ 2007年：山東国際交流協会の支援の下、地区内の小学生に近隣の国を学んでもらおうと交流を始めました。それまで、当協会の事業として、1998年から中華人民共和国上海市に毎年、10人程度の小学生を派遣していました。しかし、背丈に合った相互交流のできる環境を求め大韓民国慶州市の柳林初等学校に打診され、交流が承諾されました。この年、地区内の梁瀬小学校、与布土小学校、粟鹿小学校から21名の児童と6名の引率者が柳林初等学校を訪問しました。同時に柳林初等学校からは37名の児童と5名の引率者が山東町を訪れました。

◎ 2008年：柳林初等学校からは35名の児童と5名の引率者が来日

◎ 2009年：新型インフルエンザ流行により相互交流中止

◎ 2010年：山東地区・小学校より12名の児童と4名の引率者が訪問
柳林初等学校からは34名の児童と5名の引率者が来日

◎ 2011年：山東地区・小学校より9名の児童が訪問予定
柳林初等学校からも来日予定